

## 和泉中央地区

### 基本理念

誰もが楽しく安心して暮らせるまち

### 目指すまちの姿

○気軽に交流できる機会・場があるまち  
○お互い助け合い支え合うまち

○みんなが健康で楽しいまち  
○地域の担い手が育つまち



### 第4期計画の取組と成果

新型コロナの影響で活動自粛が続くものもあったが、様々な工夫を重ねてできることを継続して取り組んできた。

#### 【気軽に交流できる機会・場があるまち】

誰でも気軽に立ち寄れる常設拠点である、いこいの家は、コロナ禍でも人数制限・時間短縮など、工夫して活動を継続してきた。ふるさと祭りは、会場を変更して開催した。令和5年度からは、こども食堂も始まり、多世代交流の場づくりや、地域活動に関わってくれる人の輪が広がるような展開を目指している。

#### 【お互い助け合い支え合うまち】

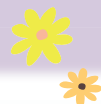
ふれあいヘルプ（ちょこっとボランティア）では、いこいの家を中心に活動を継続してきた。

#### 【みんなが健康で楽しいまち】

人数制限をしつつ、各町内会などの身近な場所で健康体操教室を行うなどした。また、地区のイベントの際には、健康に関する情報を多世代に発信した。

#### 【地域の担い手が育つまち】

和泉川クリーンアップでは、清掃活動を通じて地域行事へ参加する機運を高めてきた。



### 今後取り組む内容・課題

- ・子どもがメインとなる行事は新型コロナの影響もあり、一部休止したものもあった。また、大勢が集まる取組は従来通りの実施は難しかったが、実施方法を柔軟に変えたり、多世代の住民も担い手として巻き込んだりしながら、活動の再開に向けて動き出しており、今後もそうした工夫をしながら活動を継続していきたい。
- ・担い手の高齢化に伴う人手不足で、様々な地域活動において今後の活動継続が懸念される。
- ・現在の取組の見直しを適宜行い、継続に向けて社会の動きを踏まえたやり方の検討やバージョンアップを図っていくとともに、こども食堂など新たな取組から他の既存の地域活動へつながり、新たなネットワークが生まれることによる担い手の育成、地域活動活性化を目指していきたい。

